

ぽぽデイだより NO.131 令和6年1月号

社会福祉法人 ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前 669-1133 西宮市東山台 1-1(1階) TEL0797-62-1165

施設長より

あけましておめでとうございます。

元旦の今日は、晴天に恵まれ、新しい一年はなんだか少し良い年になりそう気がしていました。そんな明るい気分を吹き飛ばすように、夕方になって、能登沖で強い地震のニュースが飛び込んできました。一月と言えば、阪神淡路大震災の記憶がよみがえります。お正月早々に、またこんなつらい現実を突きつけられています。

でも、年の初めのおたよりです。心はざわついたままですが、これ以上このことについて書くのは止めておきます。ただひたすらに、多くの人の無事を祈って。

さて、1月20日(土)には、以下の通り、久しぶりの保護者懇親会を開催します。軽食をはさんで、おしゃべりをしたり、ゴスペルを聞いたりします。

今年は、障害福祉分野でも、大幅な報酬改定が予定されています。事業所の今後を左右するような、大幅な仕組みの改訂になりそうとのこと。そんな情報もお伝えしながら、ぽぽデイの運営についてご意見をお聞きしたり、保護者のみなさまの情報交換と懇親の場にできればと考えています。どうぞたくさんご参加ください。

保護者懇親会

日時：1月20日(土) 11:00~14:30(予定)

内容：情報交換(おしゃべりの会)

ゴスペルとワークショップ

※軽食(巻きずし)を提供します。

日程の詳細は追ってお知らせします。

申し込み：HUGの連絡帳または電話等で、1月20日懇親会に参加しますとお知らせください。

締め切り：1月15日(月)

児童発達支援 いちご組

一日の始まり『朝の会』で、言葉あそびや、人形を使ったわらべうた、絵本を一緒に楽しんでいます。ある日『えんどうまめ人形』が登場しました(持ち手がついていて、振ったり揺らしたりするとでんでん太鼓のように音が鳴る人形です)。うたが終わると、『やってみよう』気持ち、表情を届けてくれます。友だちの前に出て、大人のうたに合わせて、どのお子様も嬉しそうに演じていました。堂々と演じた後は、次の友だちへ「どうぞ」と人形を手渡される姿も見られ、一つのあそびを一緒に楽しみ、嬉しい気持ちで、次のあそび・活

動へ向かった場面だったと感じました。

一人であそび込む時間、友だちとのやり取りを楽しむ時間、大人とじっくりあそぶ時間をそれぞれ大切にしながら、元気いっぱいあそんでいきたいと思います。

放課後等デイサービス

いよいよ学年の締めくくりの三学期です。子どもたちは進級や進学、新しい進路などそれぞれ未来のことを考えてドキドキしていたり、わくわくしているお子さんもいらっしゃると思います。ご家族の方も、来年4月からのことを考えている方もいらっしゃると思います。保護者の方からのお話で、上級生になることを意識して、先輩としてがんばりたいと家で話していることを教えてもらいました。お子さんがぼぼデイで過ごしている時間の中でも、年上として、先輩としての気持ちを話してくれることがあります。どの子どもその年齢ごとに意識を持って学校生活をがんばっていることが伝わってきます。小学生は高学年になるにつれてどんどん意識が高まり、中学生は2年生になって初めての後輩を意識したり、高校生は、卒業後のイメージを持とうとしていたり、どの年齢でも思いを持って過ごされています。次のステージに不安だけで突入するのではなく、前向きな気持ちや良いイメージを持って次年度が迎えられるように子どもたちに伝えていきたいと思っています。

○ぼぼデイ名塩駅前職員の澤本真由美が1月より嘱託職員となり、児童発達支援の活動時間も勤務します。

1月より、今までの放課後等デイサービスに加えて、児童発達支援のお子さまにも関わらせていただくことになりました。様々な年齢のお子さまとともに過ごせる時間を楽しみにしております。

ぼぼデイがどのお子さまにとっても居心地のよい、安心できる場所であり、楽しんで通っていただけるように精一杯お手伝いをさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

澤本真由美

○ぼぼデイ名塩駅前職員の金岩治子が、一身上の都合により退職しました。

ひょんなことからぼぼデイと出会い、9年半という長い間お世話になりました。沢山の出会いと学びがあり、これからの私の道程に多大な影響を与えてくれました。支援の原点はぼぼデイでした。

私なりの道を切り開くという思いがあり、卒業することになりました。子どもたちへの思いはこれからも変わらず持ち続けていきたいと思っています。また、成長した姿で皆さんにお会いできるよう前進していきたいと思っています。長い間お世話になり、ありがとうございました。

金岩 治子